



6団体共同で「NO！スポハラ」活動を開始

～だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を目指して～

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 伊藤雅俊)は、スポーツ界における暴力・暴言、ハラスメント等の不適切行為をなくすことを目指し、本日、令和 5(2023)年 4 月 25 日(火)から、「NO！スポハラ」活動を開始します。



ハッシュタグは「 #no スポハラ 」

平成 25(2013)年に「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」(以下「根絶宣言」という。)を行って以降、相談窓口の設置や指導者向けの啓発など各種活動が続け 10 年が経過しましたが、いまだスポーツにおける暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行為がなくなるまでには至っていません。

当協会および日本オリンピック委員会(JOC),日本パラスポーツ協会(JPSA),日本中学校体育連盟,全国高等学校体育連盟,大学スポーツ協会(UNIVAS)の 6 団体は、共同で、2023 年度を啓発強化元年とし、「NO！スポハラ」活動を通じて、だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を目指します。

スポハラ(スポーツ・ハラスメント)とは？

スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など「安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為」のことです。※

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、「スポハラ」は成立します。

※子ども向けの説明

「スポーツをする人、みる人、ささえる人に対して、嫌なことをすることで、安全・安心にスポーツを楽しむことができないようにすること」です。

「NO！スポハラ」活動 主催6団体による活動開始に向けた決意



JSPPO

Japan Sport Association

**プレーヤーズセンタードの考え方のもと、
「スポハラ」のないスポーツ界を実現します。**

日本スポーツ協会 会長 伊藤 雅俊



**Japanese
Olympic
Committee**

**スポーツの価値を守るためにも
「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。**

日本オリンピック委員会 会長 山下泰裕



アフロスポーツ/JOC



JPSA

JAPANESE PARA SPORTS ASSOCIATION

**スポハラや差別・偏見のない、誰もが
スポーツを楽しめる活力ある共生社会を実現します。**

日本パラスポーツ協会 会長 森 和之



**「NO！スポハラ」の体育・スポーツ活動を通して、
笑顔溢れる安全・安心を築きます。**

日本中学校体育連盟 会長 平井 邦明



**学校教育の一環として行われる運動部活動から
「スポハラ」の根絶を目指します。**

全国高等学校体育連盟 会長 岡田 正治



UNIVAS

**学生アスリートが生き生きとして、
スポーツに取り組める環境の実現を目指します。**

大学スポーツ協会 会長 福原 紀彦



スポーツ庁長官からのメッセージ



**あらゆる暴力・不適切指導等の根絶に向けて
スポーツ界の取組を支援していきます。**

スポーツ庁 長官 室伏 広治



日本スポーツ振興センター理事長からのメッセージ



**インテグリティを確保し、安心・安全に
スポーツを楽しめる社会の実現を支援します。**

日本スポーツ振興センター 理事長 芦立 訓



※メッセージの詳細については、特設 WEB サイト:<https://www.japan-sports.or.jp/spohara/>をご覧ください。

「NO！スポハラ」活動とは？

「スポハラ」が起きないことを目指すだけでなく、「誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を作る」ための活動です。そのために、スポーツに関わるみんなが、「スポハラ」はあってはならないもの、ダメなもの「NO！スポハラ」という価値観をもてるようになることを目指します。

根絶宣言から10年が経過した2023年度を「NO！スポハラ活動」を開始する年と位置付け、「スポハラ」について関心をもってもらう、知ってもらう、学んでもらう、そして、防止に向けた行動ができるようになってもらうために必要な情報発信やイベントを行います。

<2023年度の主な活動概要>

●期間

2023年4月25日～2024年3月31日(予定)

●内容

➤特設 Web サイト公開➤

<https://www.japan-sports.or.jp/spohara/>

※イベント等の詳細は特設 Web サイトに順次公開いたします。また、JSPO の SNS 公式 twitter (@JSPO_official) からお知らせいたします。



➤ 専門家による情報発信

「スポハラ」にカツ(勝！／喝！／克！)！！

～スポーツ指導の新常識～

「スポハラ」から子どもたち・プレーヤーを守るために、保護者や指導者の方に知ってほしい情報を各専門領域からの視点で発信いたします。



➤ ワークショップの開催(開催予定:6月・8月・10月)

「スポハラ」を「知る」「考える」「行動する」の3つのステップで各専門領域の専門家や元トップアスリートと一緒に、より広く深く「スポハラ」について学ぶワークショップを開催いたします。

➤ 各スポーツ団体の取り組みの紹介

JSPO はじめスポーツ団体における「**NO！スポハラ**」活動に関連した取り組みを特設 Web サイトで紹介します。指導者の方向けの研修会をはじめ、一般の方にも参加いただける研修会等も随時公開していきます。その他、アスリートによるリレーメッセージや SNS の投稿キャンペーン(ハッシュタグ「#no スポハラ」)などの開催も予定しております。



『NO！スポハラ』活動が目指す社会

～保護者の方をはじめとするスポーツに関わる全員に向けたメッセージ～

スポーツ界ではこれまで、主に指導者側にアプローチを行い、“スポーツに暴力、暴言、ハラスメントなどあってはならないもの”という考え方を浸透させてきました。

多くの指導者はこの考えを理解し、

『だれもが、安全・安心にスポーツを楽しめる環境』づくりに取り組んでいます。

しかしながら、まだスポーツ界における暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為がなくなるまでには至っていません。

では、このような不適切行為をなくすことに取り組むのは指導者だけでしょうか？

この問題に対し、スポーツに関わる全員が向き合い、考える必要があるのではないのでしょうか。

例えば、保護者から指導者への不適切な行為、子ども同士、保護者間での不適切な行為も防ぐ必要があります。

スポーツ界から暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為を排除し、

だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会の実現にみんなで取り組みませんか。

スポーツにおける暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為を総称し

「スポハラ」と呼び、“スポーツ界に「スポハラ」なんていらない！”、“まだ「スポハラ」なんてやっているの？”という価値観を広げ、スポーツ界からスポハラを追い出しましょう。

その合言葉は、『**NO！スポハラ**』です。

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人日本スポーツ協会

インテグリティ推進部インテグリティ推進課 E-mail cleansport@japan-sports.or.jp (担当:品治、浦^{ほんじ})

ブランド戦略部広報情報システム課 E-mail jspol@japan-sports.or.jp

※当協会ではテレワーク勤務を併用しております。

ご不便をおかけいたしますが連絡は上記 E-mail 宛にお願いいたします。


◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット <https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約 15 分)

 **JSPO** スポーツと、望む未来へ。
Japan Sport Association

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

 ニチバン

日本文化出版

 図書印刷

時事通信

 THE SUPER SPORTS
XEBIO GROUP